

6 参考

6-1 新聞記事

<令和4年9月23日付け南日本新聞朝刊6ページ抜粋>

県外に出身者55万人？^{〃本籍人口に}213万人に

鹿児島県は22日、県人口の158万人に対し、213万人が県内に本籍を置いていると明らかにした。差の55万人のほとんどは県出身者とみられ、Uターンの働きかけに力を入れるとしている。県議会一般質問での答弁。

計画管理室によると、県人口移動調査と法務省の戸籍統計（ともに2021年3月末時点）を比較した。県人口は少子化のほか、就

知事「Uターンへ情報発信」

職や進学による人材流出が影響して1955年の204万人をピークに減少。推計では2060年に103万人に減る。答弁した塩田康一知事は地域コミュニティが崩壊する課題に直面しているとし、55万人について「県外で古里に熱い思いを持ち続ける結果が数字に表れている。Uターンしてもらうよう情報発信したい」と述べた。

（種子島時大）